

CONTENTS

私たちの大切な「骨」
放射線科のご紹介
金田病院での「地域医療研修」
「ご意見うけたまわりカード」に
お答えします

情報発信 ステーション

第日本医療機能評価機構認定病院
社日本病院会 人間ドック
健診施設機能評価認定病院

特定医療法人 緑社会

金田病院

〒719-3193 岡山県真庭市西原63
TEL (0867)52-1191 FAX52-1917
http://www.kaneda-hp.com

私たちの大切な「骨」



整形外科医長
整形外科専門医

坂田 賢一郎

「いつまでも活動的で

いきいきとした毎日を過し、長寿を楽しみたい」

そのためには健康寿命を延ばすことが必要です。

これを脅かすもののひとつに

高齢の方の骨折があります。

骨の老化は年齢とともに進み、

尻もちをつくなどのわずかな出来事でも

簡単に骨が折れてしまうことがあります。

特に足の付け根部分にあたる

「大腿骨頸部骨折」では、

そのままの状態では激しい痛みが続き、

立つことも歩くことも難しくなるため

手術が必要になります。



金田病院では昨年約180件の整形外科手術を行いました。その多くが高齢の方の「大腿骨頸部骨折」の手術でした。

「大腿骨頸部骨折」は手首や腕の骨折と異なり、特に高齢の方の手術の場合は骨折から寝たきり、褥瘡などの様々な二次障害を招く可能性があります。そのため手術前検査を含め手術前後の計画をしっかり立て、合併症をお持ちの方は内

科をはじめ循環器内科、糖尿病内科等の専門の医師と十分連携をとり手術に臨むようにしています。また、全身麻酔で手術を行う場合は麻酔科専門医が担当しています。手術後はリハビリテーション科医師や理学療法士、作業療法士と連携し、早期からリハビリテーションを行っています。

当院外科では積極的に腹腔鏡補助下手

術を取り入れていますが、整形外科でも体になるべくメスを入れない関節鏡を使った手術を行っています。一般的には膝の手術で、内視鏡を使用することで、より少ない負担でより大きな治療効果を得ることができます。当院では昨年約20件の関節鏡による手術を行いました。主に半月板損傷の方でした。半月板とは大腿骨（太ももの骨）と下腿骨（ひざから下の骨）の間にあるクッションのような役目をする軟骨です。スポーツによる損傷が多く、膝をひねったあと痛みが続いたり、膝がまっすぐ伸びなくなったりする症状がでます。また加齢によるものでも、膝の痛みやひっかかり感、腫れなどの症状がみられ、関節鏡手術はこのような加齢による半月板損傷にも効果があります。手術後の痛みも少ないため、早期に筋力をつけるためのリハビリが可能になります。

診療日のご案内

整形外科

月・火・金・土の午前中、
外来診療を行っています
尚、緊急の場合は、診療時間外も
随時対応いたします。

放射線科のご紹介

放射線科技師長 北山 清士

より正確な診断のためには血液検査や尿検査をはじめいろいろな検査を行います。MRIやCTなどの画像検査も、診断のためにもとても重要な役割を果たします。放射線科では院内各診療科に深く関わる部門として、密な連携のもと主治医に質の高い画像を迅速に提供できるよう心がけています。

放射線科は、放射線取扱主任者、放射線機器管理士、放射線管理士、アドバンス技師を取得した診療放射線技師6名と、放射線科事務1名で業務を行っています。また、夜間や休日も含め24時間迅速な対応ができるよう体制を整えています。



すべての検査を専門の放射線技師が担当し、受診される方のご質問にもわかりやすくお答えし、安心して検査を受けて頂けるように努めています。もし不安に感じることがありましたら、何でもお気軽に私共にお知らせください。

MRI検査

当院のMRI装置は1・5テスラの磁場強度を有し、X線では描画できない脳や脊髄、四肢関節、脊椎などの詳しい診断に大変有用です。血液の流れや胆管、膵管の描画も、造影剤を使用しなくても高画質の検査が可能です。

CT検査

体の輪切りの画像から情報を得るもので、小さな腫瘍の発見にも有効です。当院ではマルチスライスCTにより、短時間で高画質な画像を得ることができます。また、近年のコンピュータ技術の進歩によりCT画像を立体化（三次元画像化）し、より診断しやすい画像が得られるようになりました。

マンモグラフィ

乳癌の早期発見に欠かせない検査です。乳房は柔らかい組織でできているため、専用の撮影装置を使用します。当院は「マンモグラ

フィ検診精度管理中央委員会認定」の検診施設で、撮影は女性の認定技師（マンモグラフィ撮影認定技師評価A取得）が担当させていただきます。

医療機関の皆さまへ

金田病院放射線科では地域医療支援の一環として、医療機関の皆さまからの「MRI・CT検査のご依頼」をお待ちしています。放射線科専門医が画像診断所見をつけてお返しいたします。

○ご予約・お問い合わせ

放射線科直通電話 **0867-52-5489**
（医療機関からのMRI・CTのご予約専用回線です）



金田病院での

「地域医療研修」

川崎医科大学附属病院 研修医 久野 裕輝

2月・3月の2か月間、

医師国家試験合格後2年目の

地域医療研修をさせていただきました。



先輩から「金田病院は地域医療に熱心に取り組んでい

て、忙しいけれどあたたかい病院」と聞き、金田病院を研修の第一希望にしました。外来や入院されている方の診療、また地域の各種機関との緊密な連携など、地域に根差した医



療を研修することができました。安心できる医療を提供するために、熱心に取り組まれているスタッフの姿勢からも学ぶところが多く、とても充実した研修をさせていただきましたと感謝しています。この経験をこれからの人生に、診療に生かせるように努力したいと思います。ありがとうございました。

業務改善委員会

「ご意見うけたまわりカード」にお答えします?

Q 消灯後は廊下が真っ暗になり、

トイレに行くとき足元が見えにくく怖いことがあります。

A 早速話し合いました。安全の

ためにも夜間も病棟内の廊下には照明をつけるように改善いたしました。とても貴重なご意見をいただきました。た。

Q 病室に時計がある部屋とない部屋があるようですが、各病室に時計があると助かります。病室に時計をつけることはできませんか?

A ご提案ありがとうございます。やはり病室には時計が必要と話し合い、すべての病室に時計を取り付けました。

廊下の照明や掛時計など、皆さまからのご意見やご提案により早速改善することができました。今後も「こうすればもつと良くなる。」とお気づきの方、「ご意見うけたまわりカード」にぜひご記入ください。お待ちしております。

編集後記

前回の特集記事は「脳梗塞」、今回は「骨」でした。次回も私たちの身近なテーマをわかりやすくお届けします。ぜひご覧ください。

地域医療連携室長 田中聖陸
 社会福祉士 有本紀子
 経営企画室主任 長田寛子
 電算室主任

特定医療法人緑社会 理念

奉仕 仁愛 誠実 研鑽 調和



金田病院 理念

- 一・金田病院は、二次医療圏・日常医療圏の中で、地域の医療機関との緊密な連携のもとに、地域の中核病院として、人々にわかりやすい医療提供体制を構築します。
- 二・金田病院の医療提供体制は、「急性期医療」を基幹とし、「亜急性期医療」、「医療療養病床」を運営し、地域医療に貢献します。

基本方針

- 一・金田病院は、地域の人々に、良質な医療・介護を提供します。
- 二・金田病院は、地域の人々と、ゆるぎない信頼関係を築いていきます。
- 三・「個人情報保護法」を厳守するとともにプライバシーを尊重します。
- 四・根拠に基づいた公平な医療を提供します。
- 五・診療は、医師の説明と、患者さまの選択に基づいて行います。